

キウイフルーツかいよう病に対する品種抵抗性

かいよう病発生地域(Psa1)でキウイフルーツおよび台木系統を栽培し、
葉、新梢、花蕾の発病程度を比較した。

供試品種と調査方法

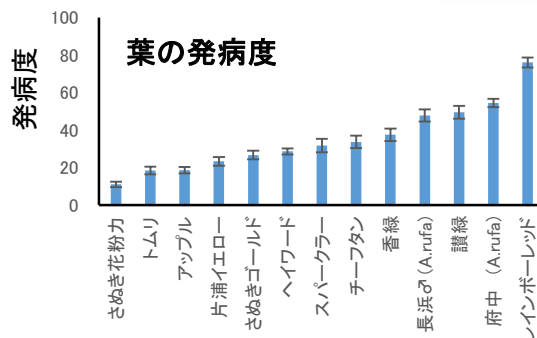
品種名	種名・倍数性	雌雄
レインボーレッド	<i>A.chinensis</i> 2×	♀
スパークラー	<i>A.chinensis</i> 2×	♂
アップル	<i>A.chinensis</i> 4×	♀
さぬきゴールド	<i>A.chinensis</i> 4×	♀
さぬき花粉力	<i>A.chinensis</i> 4×	♂
片浦イエロー	<i>A.chinensis</i> 4×	♀
讃緑	Hybrid 4×	♀
ヘイワード	<i>A.deliciosa</i> 6×	♀
香緑	<i>A.deliciosa</i> 6×	♀
トムリ	<i>A.deliciosa</i> 6×	♂
チーフタン	<i>A.deliciosa</i> 6×	♂
府中	<i>A.rufa</i> 2×	♀
長浜♂	<i>A.rufa</i> 2×	♂



結果母枝毎に供試品種・系統を接ぎ木

かいよう病発生地域(Psa1)のヘイワード6樹
に供試品種を高接ぎし、春季の葉、新梢、花蕾の
発病状況調査した。

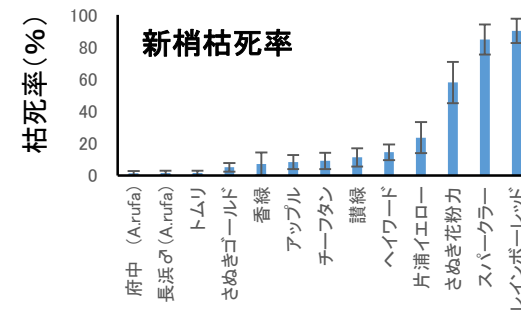
2016年春の調査結果



葉への影響が大きい。



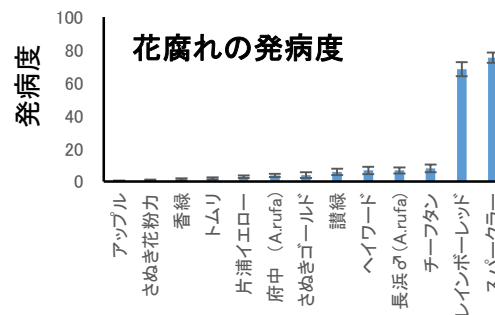
葉の発病が少ない。



新梢の枯死率が高い。



新梢は枯死しにくい。



レインボーレッド、スパークラーは
花蕾への影響も大きい。

○「レインボーレッド」は、葉の発病度、新梢枯死率、
花腐れ発病度が明かに高く、かいよう病発生地域での
露地栽培は困難と考えられる。

○キウイフルーツの台木として注目される*A.rufa*の
「府中」、「長浜♂」は新梢枯死率が明かに低く、
台木として利用できる。

○現在、冬季の感染状況を調査中であり、その状況と
合わせて品種抵抗性を評価する。